

県内の患者数

矢印は、前週の数に対して ↑増加 ↓減少 →横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 175	267	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 1	2	ヘルパンギーナ	↑ 20	8
咽頭結膜熱	↑ 21	16	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↑ 54	37
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↑ 65	43	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 373	284	流行性角結膜炎 (はやり目)	↓ 12	16
水痘	↑ 115	63	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↑ 4	1	無菌性髄膜炎	↑ 1	0
伝染性紅斑 (りんご病)	↑ 10	2	マイコプラズマ肺炎	↓ 2	3
突発性発しん	↑ 51	28	クラミジア肺炎	→ 0	0

報告が多い
感染症

- ☀ 感染性胃腸炎
- ☀ インフルエンザ
- ☀ 水痘

- 感染性胃腸炎は、報告数 373 件(前週報告数 284 件)と増加。
地区別では、山鹿、菊池、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の 53 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- インフルエンザは、報告数 175 件(前週報告数 267 件)と減少。
地区別では、宇城、八代、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、10～14歳の 42 件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数 115 件(前週報告数 63 件)と増加。
地区別では、山鹿、熊本、有明に多く報告がみられる。
年齢別では、2歳の 29 件を最多に主に 5 歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性レンサ球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミ ジア肺炎
熊本市保健所	41	0	10	30	123	63	4	4	18	0	5	13		11				
山鹿保健所	8	0	0	0	27	13	0	1	2	0	0	0	*	*				
菊池保健所	15	1	5	5	54	10	0	0	8	0	2	0		1			1	
阿蘇保健所	5	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	1	*	*				
御船保健所	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	33	0	1	6	20	7	0	1	7	0	0	2						
水俣保健所	0	0	1	1	15	0	0	1	0	0	1	11	*	*				
人吉保健所	15	0	0	10	34	2	0	0	1	0	2	0	*	*		1		
有明保健所	5	0	4	3	48	14	0	2	5	0	1	2					1	
宇城保健所	37	0	0	2	27	2	0	0	7	0	3	7						
天草保健所	14	0	0	5	18	4	0	0	3	0	6	18						
計	175	1	21	65	373	115	4	10	51	0	20	54	0	12	0	1	2	0

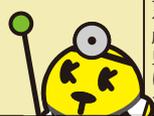
◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5月	6~11 ヵ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳 以上
インフルエンザ	175	1	5	6	1	5	8	11	12	13	19	17	42	12	8	8	3	2	1		1
小児科定点年齢	合計	~6ヵ月	~12ヵ 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以 上						
RSウイルス感染症	1		1																		
咽頭結膜熱	21		2	4	3	2		2		5	2		1								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	65		1	2	5	7	8	6	7	3	7	7	7	1	4						
感染性胃腸炎	373	4	30	53	42	35	34	14	17	27	15	14	47	9	32						
水痘	115	2	2	25	29	24	18	11	2	1		1									
手足口病	4			3	1																
伝染性紅斑	10		3	2	1	2	1	1													
突発性発しん	51		27	22	1	1															
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	20		3	8	6		1		1			1									
流行性耳下腺炎	54			4	7	5	9	15	7	1	1	3	1		1						
眼科定点年齢区分	合計	~6ヵ月	~12ヵ 月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以 上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	12		1													7			1		3
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以 上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	1											1									
マイコプラズマ肺炎	2			2																	
クラミジア肺炎	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

◇ 流行性耳下腺炎：水俣

麻疹(はしか)



平成24年5月11日に、熊本県麻疹対策会議を開催し、感染症医療専門家や学校関係機関などが集まり、麻疹予防対策や予防接種の重要性について話し合いました。県内では、平成22年5月以来発生報告はありませんが、全国では年間400件以上報告されており、今年も愛知県、東京都、千葉県などで報告されています。麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされ、極めて感染力の強い病気です。その感染力はインフルエンザウイルスの6~8倍も強いと言われています。感染すると約10日ほどで、鼻汁、結膜炎、高熱などの症状が見られ、その数日後に全身に赤い発しんが現れます。また、肺炎や脳炎などの合併症が起こることもあり恐い病気です。麻疹の予防接種を受けましょう。麻疹の発症を確実に防ぐためには、2回の予防接種を受けることが必要です。特に、1歳児にはできるだけ早く予防接種を受けさせてあげましょう。予防接種率を向上させるためには、保護者をはじめ、保育所、幼稚園、学校関係者の予防接種に対する意識を高めることが大切です。麻疹予防対策に御協力をお願いいたします。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課